

WCRP 日本委員会 WCRPインドネシア委員会共催

オンラインスタディーツアー海外編 *Part 2*
インドネシアから学ぶ
人身取引の現状



2022年3月26日（土）

15:30～17:30

概要

国際労働機関（ILO）の2016年の報告によると、世界では4000万人以上が人身取引の被害を受けており、特にアジアでは深刻な問題となっています。

WCRP日本委員会は2020年に人身取引防止タスクフォースを立ち上げ、これまでに日本国内における技能実習生の問題やフィリピンにおける性的搾取の問題に取り組み、昨年7月にはWCRPネットワークにおける啓発活動や政府機関、国際機関、NGOとの連携などの行動計画を盛り込んだ声明文を日本政府へ届けました。

人身取引の問題は東南アジア諸国を中心とした越境的問題です。今回のオンラインシェルターで訪問では、WCRPインドネシア委員会と共催で、参加者の皆さまと共に学び、労働搾取を防止するための行動を考える機会といたします。



総合司会： 小宮山延子

(敬称略)

(カトリック, WCRP日本委員会 人身取引防止タスクフォースメンバー)

15:30 開会挨拶

宍野史生

(扶桑教, WCRP日本委員会 人身取引防止タスクフォース責任者)

15:35 ルマ・ハラパンの紹介

Ms. Ester Mantaon

(被災者支援者・ルマ・ハラパン弁護士)

シェルター訪問 (映像)

被害者のパーソナルストーリー (映像)

16:00 休憩

16:10 関係者へのインタビュー

加瀬育代

(立正佼成会渉外グループ, WCRP日本委員会 人身取引防止タスクフォースメンバー)

16:25 質疑応答

16:40 グループワーク

17:10 発表

17:25 閉会挨拶

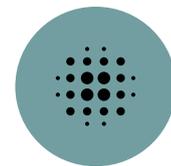
ファーザー ハリヤント

(WCRPインドネシア委員会 議長)

17:30 閉会



発表者 団体紹介



発表者

ルマ・ハラパン (GMIT) とは



ルマ・ハラパン (GMIT) はインドネシアで多発する人身取引や女性や子どもへの暴力に対応するため、プロテスタント教会の宗教団体として活動しています。

GMITは2018年2月から警察、政府機関、教会、地域社会と連携してRumah Harapanを開催しました。



主催者の人身取引に対する主な取り組みは、ジェンダーに基づく暴力の被害者（女性や子ども）の予防、保護、支援に特化しています。

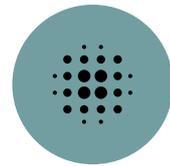
Gereja Masehi Injili di Timor（英語では "Christian Evangelical Church in Timor"）は、インドネシアで2番目に大きなプロテスタント教会で、200万人の会員と2161の会衆、約1100人の聖職者を擁しています。東ティモールにあるGMITは、プロテスタントの改革派に属しており、インドネシア東部の諸州にも広がっています。また、文化的に多様で貧しい地域で宣教をしている団体です。



Zero Human Trafficking Network (Z-HTN) は、2018年に東ヌサテンガラ (NTT) のラブハンバジョで、インドネシアと東ティモールの人身取引に関する問題を、予防、対処、回復まで管理している34の機関が合同で会議を行い誕生した団体です。

NGOだけでなく、政府、人類と平和のために活動する宗教間ネットワークも参加しています。インドネシア宗教間対話研究所 (INTERFIDEI) は、Z-HTNの34機関の一つで、インドネシアにおける人身取引の問題が、いかに宗教指導者や信仰、地域社会、現場の宗教者の関心と運動になるかを具体的にプログラム／活動として展開しています。

発表者 共催団体紹介



共催団体

世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会



WCRP 日本委員会は、1972年に日本宗教団体連合会の国際問題解決のために設立されました。

以来、核兵器廃絶、地球環境保護、インドシナ難民、カンボジア難民、シリア難民などの難民支援、教育・和解、人道支援、災害救援、人身売買防止などの平和構築活動を、宗教を超えた対話と協働によって行っています。

共催団体

世界宗教者平和会議（WCRP）インドネシア委員会



WCRPインドネシア委員会はアジア宗教者平和会議（ACRP）のインドネシア支部です。その中には、3つの機関があります。宗教と平和インドネシア会議（ICon-RP、2000年）、宗教と平和インドネシア委員会（ICom-RP、2005年）、そして宗教間対話インドネシア研究所（Interfidei、1991年）です。



今回特に共催としてご協力いただいたINTERFIDEI（宗教間対話インドネシア研究所）は、1991年にジョグジャカルタで設立されました。その後、1976年に東京で開催されたアジア宗教者平和会議の発足式に出席し、当初から活動していたゲドン・バゴエス・オカ氏（インドネシア・ヒンドゥー・ガンジー派女性）を通じて、1993年から世界宗教者平和会議（WCRP）と繋がりを持つようになり、現在に至っています。

1994年、INTERFIDEIは11月3日から9日にかけてリーヴァ・デル・ガルダで開催されたWCRP第6回総会に出席し当時名誉会長であったゲドン夫人に代わり、ガス・ドゥールがWCRP会長の一人として出席しました。それ以来、INTERFIDEIはACRPと繋がりを持つようになり、2002年に開催された第6回総会は6月24日から28日までジョグジャカルタで開催されました。INTERFIDEIは現地委員会のコーディネータを任せられそれ以来、ACRPの平和活動に積極的に参加しています。